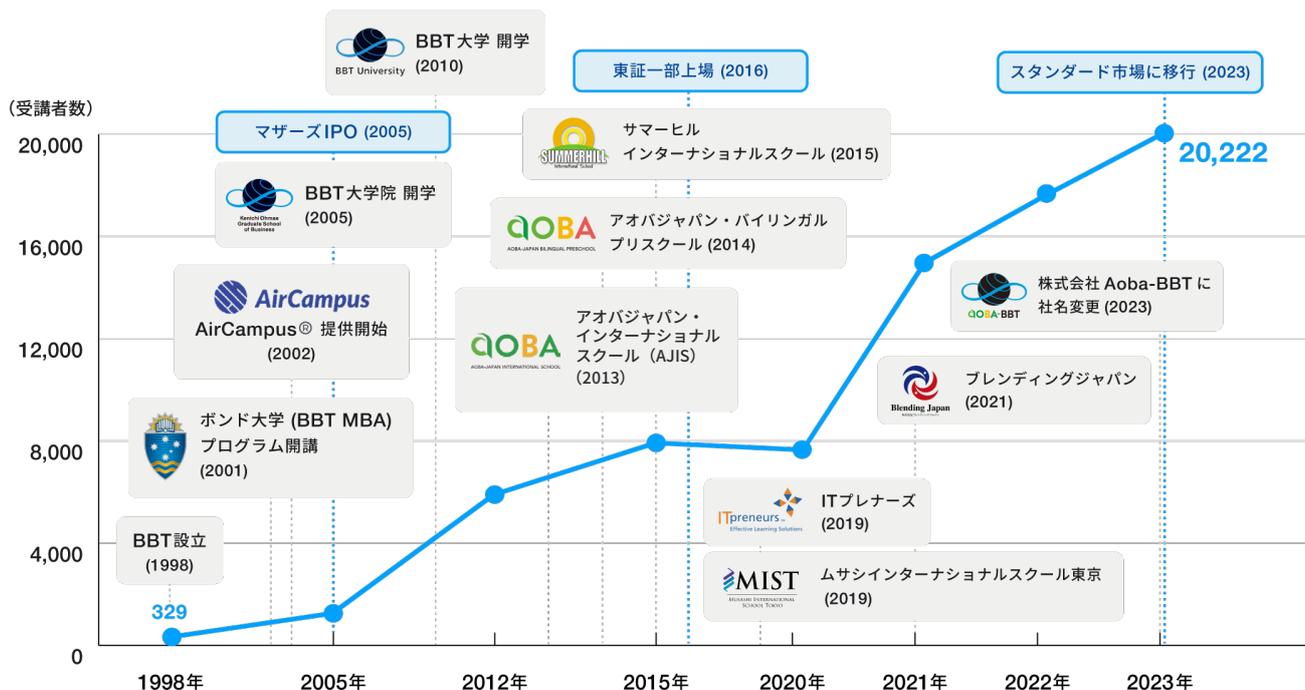


『リカレント教育と国際教育』で教育業界を牽引する Aoba-BBTは、おかげさまで設立25周年を迎えました。



幼児から経営層まで、全世代に世界標準の教育を提供する「生涯学習プラットフォーム」を構築し、教育のイノベーションを追求してまいります。



グローバルリーダーを輩出するために、**日本初**の先駆的取り組みと**M&A**の両軸で成長を続けます。

1998年 **世界初**の24時間経営教育チャンネル「スカパー！」で開始 (757ch)
 2001年 **日本初**の豪州・BOND大学との共同MBA「BOND-BBT MBA」開講
 2002年 **日本初**の独自eラーニングプラットフォーム (AirCampus®) 提供開始
 2003年 **日本初**の遠隔教育 (視聴認証) システムビジネスモデル**特許**取得
 2005年 **日本初**の100%オンライン大学「BBT大学院大学」開学
 東京証券取引所**マザーズ市場**に上場
 2009年 **米国初**の遠隔教育 (視聴認証) システムビジネスモデル**米国特許**取得
 2010年 **日本初**の100%オンラインの経営学部「BBT大学経営学部」開設
 2011年 アットホーム英会話を**子会社化**、(株)BBTオンライン設立
 2013年 (株)アオバインターナショナルエデュケイショナルシステムズを**子会社化**
 ⇒ **日本初**、上場企業がインターナショナルスクールを経営

2014年 現代幼児基礎教育開発 (株)**子会社化**
 (現:アオバジャパン・バイリンガルプリスクール)
 ⇒**日本初**のバイリンガル幼稚園の国際バカロレア認証
 2015年 Summerhill International (株)を**子会社化**
 2016年 Tokyo Rainbow International School **事業譲受**
 Waseda International School **事業譲受**
 2019年 Little Angels学園 (株) (現:MIST) **子会社化**
 (ケンブリッジ国際認定) ⇒**日本初**、2大国際カリキュラム保有教育機関
 (株)ITプレナースジャパン・アジアパシフィック**子会社化**
 2021年 子ども向けオンライン英会話の (株)ブレディングジャパン**子会社化**
 ITマネジメント事業の日本クイント (株)**子会社化**



グローバルな視野と革新的な教育を通して、
 世界で活躍するリーダーを育成する。

代表取締役社長 柴田 巖



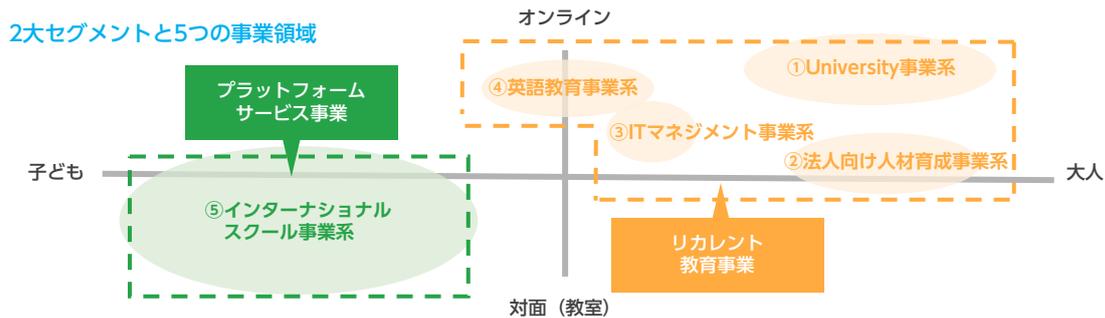
大前 研一
 ビジネス・ブレイクスルー大学、同大学院 学長

Aoba-BBT (旧: ビジネス・ブレイクスルー) は、ビジネスのパラダイムが大きく転換する21世紀において、ビジネスパーソンが常に自らをアップデートする学びの知的共有基盤 (プラットフォーム) を構築することを目指し、1998年に設立されました。

弊社は「世界で活躍するリーダーの育成」をミッションに掲げ、主としてオンライン教育を通じて、世界を舞台に新たな価値を創造したい企業と個人を支援してまいりました。その過程で、自らも先駆者たるべく、世界初の24時間ビジネス教育CS放送局開設 (BBT757ch)、オンライン学習システム自社開発 (AirCampus®)、日本初の100%オンライン大学として文部科学省認可を受けたビジネス・ブレイクスルー大学 (MBAおよび学部) の設立など、先駆的な事業を創造し、現在の「リカレント教育」セグメントを構成しています。

2013年以降は、1歳から18歳の学習者を対象にインターナショナルスクールを開始し、「プラットフォームサービス」セグメントとして、当社の売上と営業利益の約半分を占めるまでに成長してまいりました。

当社は、創業から四半世紀を迎えた今を第二創業と位置づけ、教育の革新を日々追求しています。



「現在」のグローバルリーダーを輩出する

リカレント教育セグメントは、ビジネスプロフェッショナル向けの教育コンテンツの開発およびオンライン学習システムの企画、開発、運営を行っています。当セグメントの特長は以下の通りです。

①教育コンテンツの開発

- ・顧客のニーズに対応：最新の教育内容を柔軟に提供し、顧客のニーズや時代の変化に応じたコンテンツを開発
- ・未来志向の設計：未来を見据えた逆算的なアプローチにより、常に最新の教育コンテンツを維持
- ・豊富なコンテンツ：ビジネスプロフェッショナル向けの映像コンテンツは18,000時間を超え、毎年1,000時間の新規コンテンツを制作・更新

②オンライン学習システム

- ・最新技術の活用：独自のオンライン学習システム「AirCampus®」や「AirSearch」に生成AIを搭載し、学習の効果と効率を最大化
- ・迅速な対応：ユーザーのフィードバックを迅速に反映し、常に最新の状態にアップデート

③教育プラットフォームの強さ

- ・自社開発・運用：オンライン学習システム「AirCampus®」を自社で開発・運用し、ユーザーのニーズに迅速に対応
- ・専門性豊かな講師陣：経営の各分野に精通した数百名規模の専門講師を擁し、質の高い教育を提供

④実践的学習メソッド

- ・RTOCS (Real Time Online Case Study) などの導入：大前学長が開発した実践的な学習メソッドやソリューションを提供し、学習効果を高める

⑤ハイブリッド学習の提供

- ・多様な学習形式：オンライン学習と対面学習のハイブリッド形式を採用し、オンライン型、教室型、ブレンド型の全てに対応

これらの強みにより、私たちはコンテンツとシステムの両面から最適なソリューションを提供しています。特に近年では、日本人のみならず外国人の管理職や経営幹部も、弊社のオンライン学習システムを通じて、いつでもどこからでも学ぶことが可能です。

受講者の多様な学習ニーズに柔軟に対応し、グローバルレベルでの次世代経営人材の育成に大きく貢献しています。

「未来」のグローバルリーダーを輩出する

2013年以降、当社はアオバジャパン・インターナショナルスクール（以下、AJIS）を子会社化し、幼児から高校生までのインターナショナルスクール事業に進出しました。それから10年が経過した現在、当社は都心に12のキャンパスを運営しており、日本でも最大級の国際教育機関に成長しています。

現在、11校のキャンパスが国際バカロレア（IB）認証を取得、または認定候補校となっています。残る1校であるムサシインターナショナルスクール東京は、IBと並ぶ国際教育プログラムであるケンブリッジ大学国際教育機構の認定校であり、初等・中等・高等学校課程のすべてで認定を取得しています。

当社は日本国内において、IBとケンブリッジの2大国際カリキュラム認定を受ける唯一の教育機関です。

ブランド名	カリキュラム	対象年齢	拠点（生徒数）	教育特長
アオバジャパン・インターナショナルスクール 	国際バカロレア (IB PYP / MYP / DP)	1歳半～高校生	3拠点（755名） 練馬区光が丘、文京区駒込、目黒区青葉台	学費 230万円/年～ 幼小中高一貫
アオバジャパン・バイリンガルプリスクール 	国際バカロレア (IB PYP)	1歳～6歳	7拠点（586名） 中央区晴海、港区芝浦、高田馬場、三鷹市、中野区、目黒区下目黒、世田谷区用賀	学費 180万円/年～* 日本語英語半々 バイリンガル教育
サマーヒルインターナショナルスクール 	国際バカロレア (IB PYP)	1歳～6歳	1拠点（74名） 港区元麻布	学費 250万円/年～ 最もハイエンドブランド
ムサシインターナショナルスクール東京 	ケンブリッジ国際 (Cambridge A level)	5歳～高校生	1拠点（184名） 東京都三鷹市	学費 150万円/年～ 幼小中高一貫教育

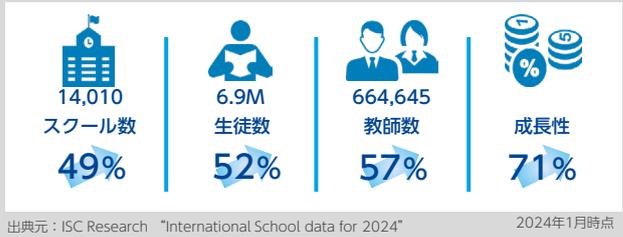
*学費は拠点によって異なります。

■インターナショナルスクール市場の成長性

グローバル化の流れに伴い、世界のインターナショナルスクール市場は過去10年間で大幅に成長しており、日本でも市場拡大が進んでいます。日本国内においてもプリスクールに通う子どもの増加や海外からの進出がニュースで取り上げられるなど、関心が高まっています。

当社は、多文化共生を重視した教育環境と、日本市場に最適化された国際教育やインターナショナルスクール経営に関する専門知識、そして参入障壁の高い国際カリキュラム認定による高い教育品質を強みとしており、これにより市場拡大のスピードを上回る成長を維持しています。

インターナショナルスクール市場は世界で成長



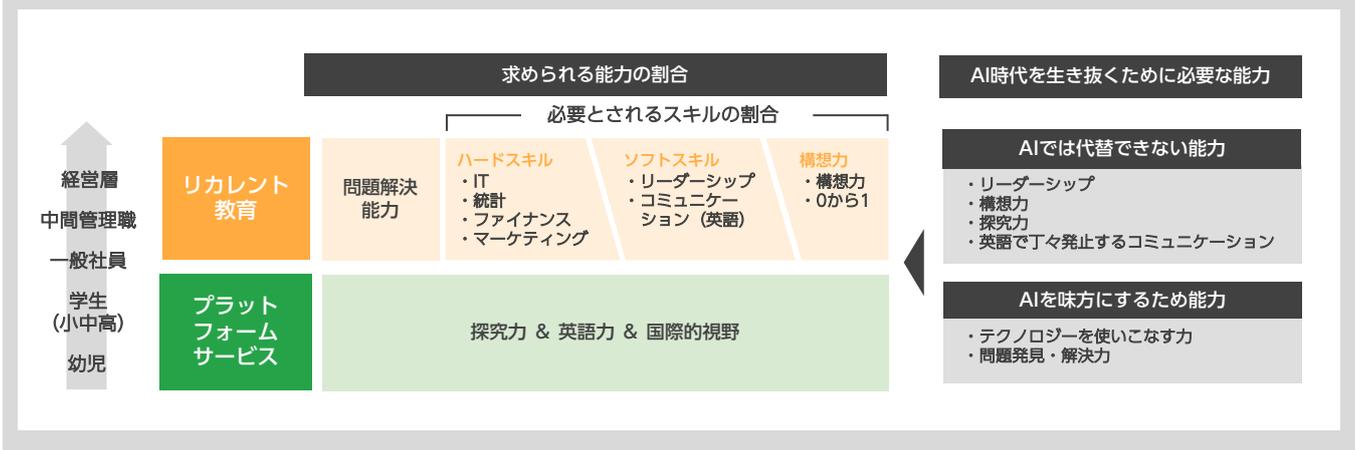
今後の経営方針について

当社は、幼児から経営層までを対象とする「生涯教育プラットフォーム」を構築しています。今後の経営方針として特に注力する分野は以下の通りです。

まず第一に、「リカレント教育」セグメントにおいては、日本に新たな価値を創造する「次世代経営人材育成サービス」を主に法人顧客に拡大してまいります。このサービスでは、財務・戦略・マーケティングといった経営人材に必須のスキルを提供するだけでなく、「AIを使いこなす能力」や「AIで代替できない構想力」にも焦点を当てたコンテンツを開発してまいります。

第二に、「プラットフォームサービス」セグメントについては、現在教室で行われている授業をオンラインまたはオンラインと教室のブレンド型で提供し、アオバジャパン・インターナショナルスクールのみならず、国内外の他の教育機関や生徒にも展開していきたいと考えています。

幼児から経営層までAIに代替されない本質的な力を身につけた「世界で活躍するリーダーの育成」



今後の成長のための投資方針について

これら2つの注力分野の成長を支えるために、Edtechへの継続的な投資を行います。

まず、「リカレント教育」セグメントでは、受講者の学習効率を向上させるため、オンライン学習システムにAIを導入します。また、グループ全体の生産性を向上させるため、デジタルトランスフォーメーション（DX）への投資も進めていきます。

次に、「プラットフォームサービス」セグメントにおいては、これまでの物理的なキャンパス投資から、より高い投資対効果（ROI）が期待できるオンラインキャンパスへの投資に重点を置きます。

この度、アオバジャパン・インターナショナルスクールは、国際バカロレア機構（IBO）より、アジア初、オンラインIBディプロマ・プログラムを提供できる学校に選出されました。これにより、国際バカロレア教育を希望するアジア・オセアニアの高校生にオンラインでの教育機会を提供することが可能となります。

私たちは、Edtechと教育コンテンツへの積極的な投資を通じて、日本および世界中の子どもから大人まで、オンライン、教室型、ブレンド型のすべてに対応した最新の教育を提供することを目指しています。

以上の方針により、当社の持続的な成長を確保できると確信しています。



起業の聖地：アルムナイの活躍

今年度、当社は創業から25年の節目を迎えました。

この四半世紀の間に、アタッカーズ・ビジネススクールやビジネス・ブレイクスルー大学院・大学を通じて、当社のプログラムのアルムナイ（卒業生・修了生）から1,000以上の企業が誕生し、IPOを果たした卒業生は17名に上ります。

この実績は、日本の教育機関から輩出されたIPO数として有数のものであり、当社の教育の質を証明しています。これまでの実績を讃え、創業の地である東京都千代田区六番町本社の地下100坪のスペースに「起業の聖地」を新設し、「起業の殿堂」としてIPOを達成した17名のプレートを掲げています。

「起業の聖地」は、日本における新たな起業活動の促進とビジネスマッチングの機会を提供することを目的としています。この場所は、起業家や研究者が集い、アイデアを交換し、共創する場として位置づけられており、Aoba-BBTが提供する教育プログラムの教室も兼ねています。「起業の聖地」は、これまでの実績を具体化し、さらなる起業の芽を生む場所として期待されています。

さらに、インターナショナルスクールの卒業生も、世界のトップ大学への入学率が年々高まっており、未来のグローバルリーダーとしての活躍が期待されています。

このように、生徒および受講生の能力向上、満足度の向上、そして社会での顕著な活躍が、Aoba-BBTの競争優位性と企業価値を高める源泉であると確信しています。

私たちは今後も引き続き、質の高い教育を提供し、世界で活躍する次世代のリーダーを育成してまいります。

株主の皆様へのメッセージ

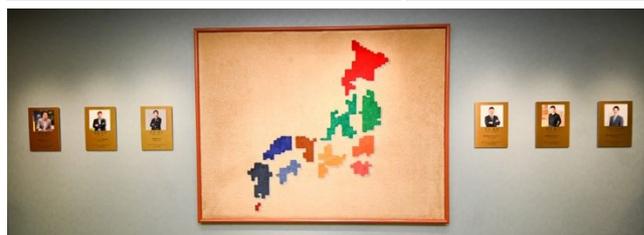
当社はこれからも、「Lifetime Empowerment [一生涯学び続け、生涯に渡り自己研鑽し成長し続ける学び舎（学習プラットフォーム）となる]」という当社ビジョンに基づき、次代を見据えたビジョナリー・カンパニーとして進化を続け、数多くの「国際社会に貢献できるビジネスリーダー」を輩出すべく、未来へ向かって躍進を続けていきたいと考えております。

また当社グループは、このような経営方針に基づいて事業を展開し業績の向上を図るとともに、株主利益や社会環境にも十分に配慮し、企業価値の向上に努めていく所存であります。これからもAoba-BBTのビジョンにご期待ください。

今後とも変わらぬご支援を賜りますようお願い申し上げます。

「起業の殿堂」入りしたアルムナイ

株式会社マクロミル	福羽 泰紀
ケンコーコム株式会社	後藤 玄利
株式会社MIXI	笠原 健治
株式会社アイスタイル	吉松 徹郎
株式会社クラウドワークス	吉田 浩一郎
弁護士ドットコム株式会社	元榮 太郎
株式会社鎌倉新書	清水 祐孝
株式会社リファインパースグループ	越智 晶
株式会社イノベーション	富田 直人
Retty株式会社	武田 和也
株式会社ギックス	網野 知博
株式会社オプティム	菅谷 俊二
tripla株式会社	鳥生 格
株式会社pring	萩原 充彦
株式会社モンスターラボホールディングス	鯉川 宏樹
AnyMind Group株式会社	小堤 音彦
株式会社ハッチ・ワーク	大竹 弘



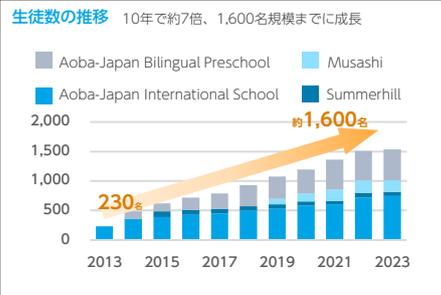
リアル（集合）教育 インターナショナルスクール卒業生の進路実績から見える、世界水準のボーダレスな学び

幼児
 初等部
 中等部
 高等部



■ 未来のリーダーを育てるスクール

世界的な大学への入学資格を得る『国際バカロレア・ディプロマ・プログラム (DP)』を取得した生徒のIBDP試験世界平均は30点だったのに対して、アオバは最高得点40点、平均点33点と非常に高い成績を残しました。科目ごとの試験平均評価点は5.23点と、世界平均4.8点を大きく超え、世界水準の、高い教育を提供していることで評価されました。



■ 2023年度卒業生進学先

進学実績も世界トップレベルの学校への入学を認められ、そこで高いレベルにおいて成功できる力を培っていることが評価されています。アオバの生徒たちは、自らの興味や情熱に基づいて明確な目標を設定し、その達成のために献身的な努力を展開しています。

卒業生学業成績は世界トップレベルの大学（右図は一例）の他、チェコ、ブラジル、中東等世界の多様な大学への合格・進学しました。

年度	大学	ランキング
2022年度	シカゴ大学 (米国)	10
	ロンドン大学 (英国)	15
	ミシガン大学 アナーバー校 (米国)	24
	カリフォルニア大学サンディエゴ校 (米国)	34
2023年度	マンチェスター大学 (英国)	50
	ペンシルバニア州立大学 (米国)	16
	トロント大学 (カナダ)	21
	ユニバーシティ・カレッジ・ロンドン (英国)	22
	ワシントン大学 (米国)	25
	上海ニューヨーク大学 (中国)	27

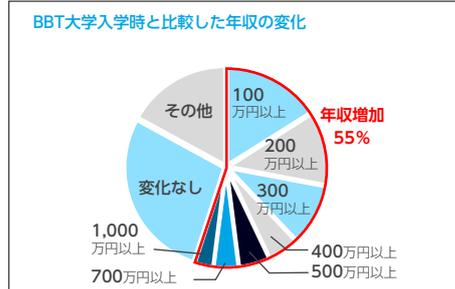
オンライン（遠隔）教育 BBT大学・大学院がもたらす“学びの力” — 卒業生が語る成長の実感 —

BBT大学
 BBT大学院



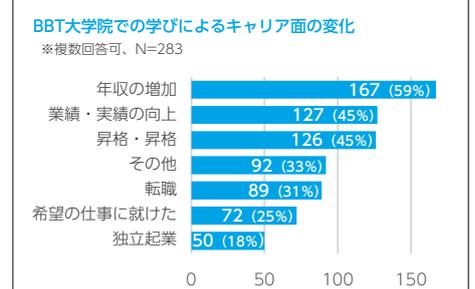
<BBT大学>学びが人生を変えた

BBT大学卒業生705人対象としたアンケート（2023年実施）より、約15%が「独立・起業している」、年収については、全体の55%が増加したと回答しています。BBT大学での学びがその後のキャリアに大きく寄与していることが分かります。



<BBT大学院>キャリアと年収に大幅な影響

大学院卒業生も、59%が「年収の増加」、45%が「業績・実績の向上」、年収が1,000万円以上増加した方が11%おり、大学院での学びが給与と自己実現に大きく影響したことがうかがえます。



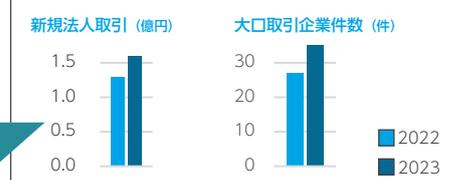
ブレンド（集合+遠隔）教育 多くの企業から支持されるAoba-BBTの人材G育成



ビジネスパーソン

CXO

6年間で法人営業売上高は倍増。新規法人取引及び大口取引企業件数とも増加基調にあります。



Aoba-BBTが提供する全コンテンツを活用し、売上1兆円を超える大企業から、従業員数名のベンチャー企業まで、顧客の人材育成課題に合致した最適な研修を提供し、今後の経営を担う未来のリーダーの輩出をご支援しています。

<導入事例>

- ゼネコンA社 (1001人～)**
 ハイブリッド (オンライン+リアル) 研修
 海外拠点の経営幹部候補育成
- 金融DB社 (1001人～)**
 ハイブリッド (オンライン+リアル) 研修
 コンサルティング部署向け問題解決能力

<文部科学省委託事業を受託>

産業界・個人・教育機関の成長を好循環させるリカレント教育エコシステムの創出を支援しました。

●開会の挨拶
 文部科学省 事務次官
 藤原 章夫 氏

リカレント教育EXPO 2024

2024年3月期：業績サマリー

【売上】 **15期連続増収**：連結会計年度として**過去最高**を更新。

【利益】 営業**増益**：ICTやDXなどの先行投資を進めつつ、16%の増益（過去5年で2番目の高水準）。

2025年3月期：計画

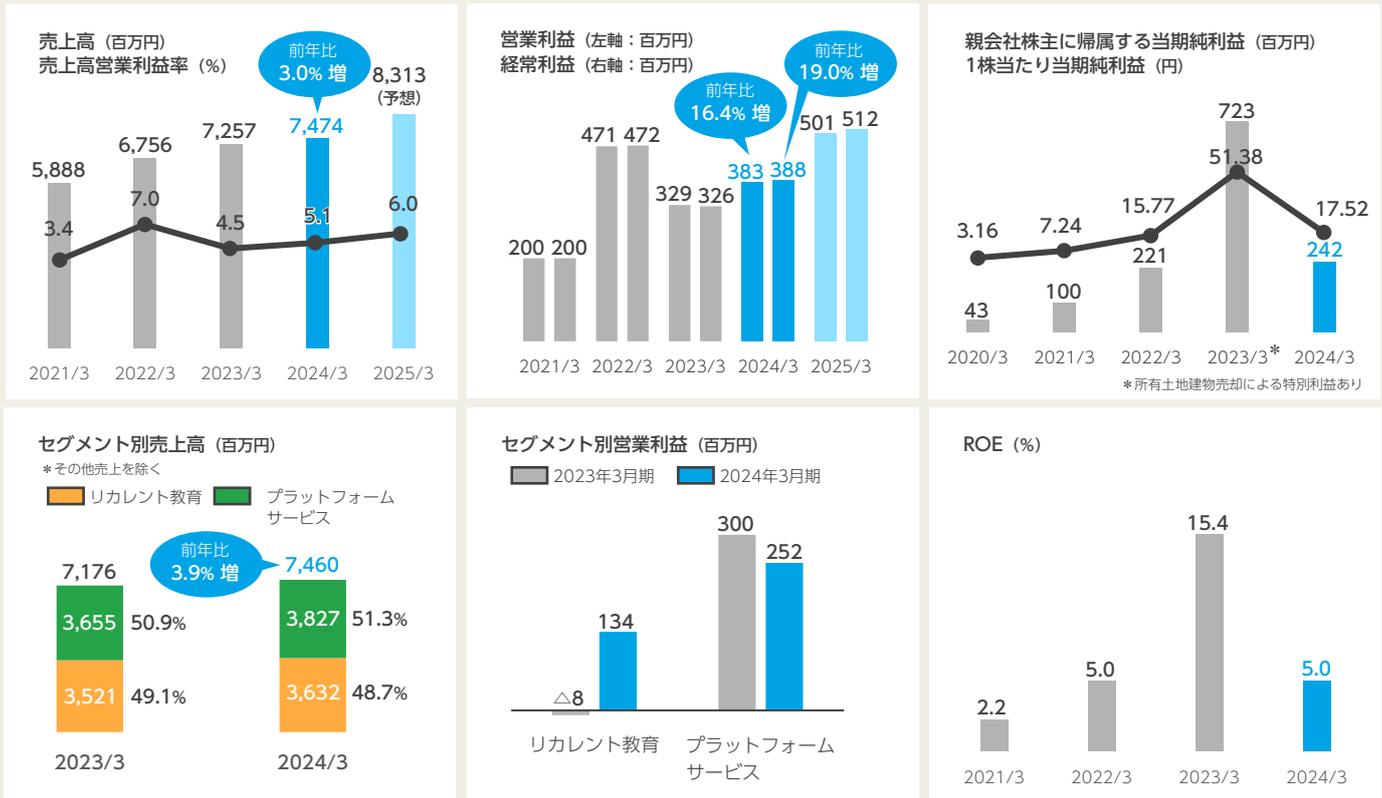
2022年6月中計発表数値を下回るものの、売上・利益ともに過去最高益で計画。

【売上】 リカレント教育事業は法人向け人材育成事業が業績牽引。

プラットフォームサービス事業は生徒数が前年比100名増の約1,600名でスタート。

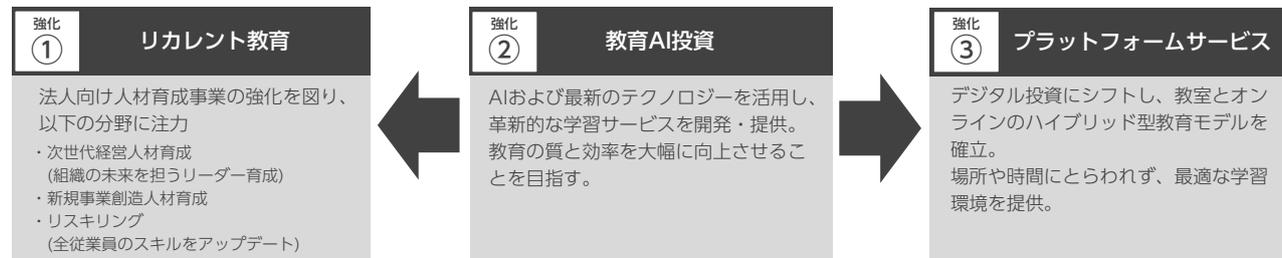
【利益】 リカレント教育事業は組織改編によるコスト削減。

プラットフォームサービス事業は拠点拡大からデジタル拡大へ。



2025年3月期は3つの強化事業領域をベースに様々な施策を展開、計画を着実に達成し企業価値の永続的な向上にコミットします。

3つの強化事業領域



収益性強化施策

- 生成AI時代のニーズに応えるプロダクト開発**
 - 【実践型】生成AI活用キャンプ：最新のAI技術とDX手法を使い、実践的なトレーニングを提供
 - 構想力・イノベーション講座：AIやDXで代替できないクリエイティブな思考力と戦略的な発想力を育成
- 次世代の経営人材の育成支援**
- グループ全体でAIやDXを導入し、業務効率化と最適化を図る**



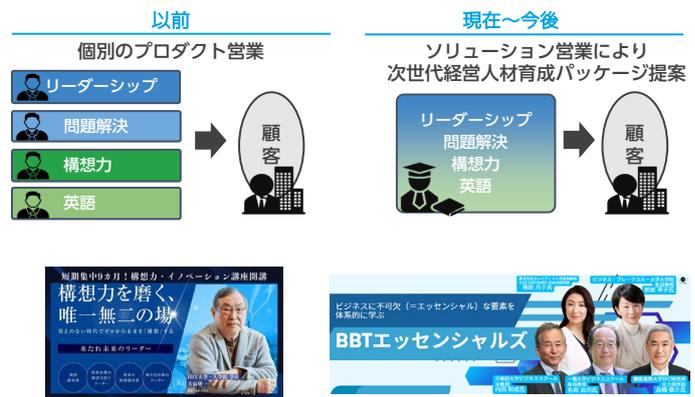
1 法人営業の強化：顧客の経営課題に合わせたソリューションを提供

■ 次世代経営人材育成（サクセッションプラン）案件への注力

法人向け人材育成事業では、CxOを目指す次世代経営人材育成（サクセッションプラン）案件が顕著に増加しています。かつては個別プロダクトを提案してきましたが、現在および今後は、企業戦略に直結した総合的な経営人材育成プランをソリューション提案するスタイルへと進化させております。

また企業の最新のニーズに対応するため、「構想力・イノベーション講座」や「BBTエッセンシャルズ」などの新しいプログラムも開発しました。これらのプログラムは、受講者の創造力を高め、イノベーションを促進することを目的としています。特に、「構想力・イノベーション講座」は、新しいビジネスモデルの構築や革新的なアイデアの実現を支援し、「BBTエッセンシャルズ」は、学び放題の映像講座で、ビジネスリーダーを育成します。

このように、法人向け人材育成事業は、次世代経営人材の育成を通じて、企業の持続的な成長を支援し、さらなる発展に寄与してまいります。



2 教育AI投資

当社のオンライン学習プラットフォーム「AirSearch」と「AirCampus®」は、AI実装などさらなる進化に向けた投資を継続しております。

■ 学習体験の向上

- ・学習内容をパーソナライズし、最適ナリコメンデーションを提供する機能を導入
- ・オンライン学習環境を最適化するための機能改善を行い、受講者にとってより効果的な学習体験を提供

■ 教育業務のDX推進

- ・学生への学習サポートを強化し、個別のニーズに応じた支援を提供
- ・プログラム運営側が各学生の学習進捗をデータとして蓄積し、AIによる早期かつ正確なアラートを生成することで、学習の質を向上

■ 教育ビジネスの拡大

- ・新しい学び方を提案し、他社の学習プラットフォームとのシステム連携を進めることで、教育の枠を広げる
- ・自社の学習プラットフォームを販売し、さらに多くの企業や教育機関に提供することで、教育ビジネスの拡大を図る



これらの取り組みにより、当社は教育の質をさらに向上させるとともに、ビジネスの成長を加速させ、今後も、最新の技術と革新的なアイデアを取り入れながら、皆さまにとって最適な学習環境を提供してまいります。

3 インターナショナルスクールは拠点投資からデジタル投資へ

当社のインターナショナルスクールの経営は、従来の拠点投資からデジタル投資へとシフトしています。この戦略的転換は、国際バカロレア機構からアジア初のIB-DPオンラインパイロット事業者に選定されたことで加速しています。当社は以下の3つの施策でこの変革を進めています。

■ 施策1：国内バーチャル展開

通学型の学校は地理的制約がありますが、オンライン教育により全国の生徒に高品質な国際教育を提供可能です。2022年に開始したOnline Global Leadership Diploma（通信制高校）は2024年初の卒業生を輩出し、今後も生徒数の拡大を見込んでいます。

■ 施策2：国内の他の学校にオンライン授業の提供

コンテンツプロバイダーとして国内の学校にもオンラインで国際教育を提供します。このモデルは熊本県の九州ルーテル学院で実施され、成果を上げています。TSMCの熊本進出に伴い、従業員の子が通うインターナショナル教育機関としての需要が高まり、九州ルーテル学院を支援しています。熊本県に住む外国人高校生がアオパと九州ルーテル学院のジョイントオンラインカリキュラムに入学し卒業しました。

■ 施策3：アジア・オセアニア市場への拡大

オンライン教育の特性を活かし、アジアやオセアニア地域への拡大を図ります。特に、IB認定校が少ないエリアに対し、国際バカロレア機構と共同でIB教育を提供する方法を模索しています。このコラボレーションにより、アジア市場での展開が始まり、業績への貢献も期待されています。アジアやオセアニア地域は、日本と比較して数十倍のマーケット規模を持ち、オンライン国際教育の普及に大きなチャンスを提供します。

これらの取り組みを通じて、当社は国内外で急速に拡大するオンライン国際教育のニーズに対応し、革新的な教育モデルを提供し続けます。デジタル投資へのシフトにより、教育の質を高め、より多くの学生にアクセス可能な学習環境を提供します。



時差3時間域内で独占展開
 (上図水色ハイライトが当校提供範囲)

株主還元政策について

当社は、株主の皆様への利益還元を重要な経営課題の1つと位置づけ、各期の経営成績、企業体質の強化と今後の事業展開に向けた内部留保の充実等を総合的に勘案しつつ、継続的な配当の実施に努めることを基本方針としております。

年間配当金

	1株当たり配当 (年間/円)	配当性向 (%)
2024年3月期	11.0円	62.8

株主優待制度を通じて
Lifetime Empowerment の機会をご提供！

当社では、株主の皆様が生涯にわたり学び続けることを支援するため、多彩な講座の受講料を割引しております。また、学習の合間にリフレッシュしていただけるよう、ATAMIせかいえの宿泊料も優待価格にてご招待しております。

主な株主優待対象プログラム

- 実践ビジネス英語講座
- 問題解決力トレーニングプログラム
- BBT経営塾など
- リーダーシップトレーニングプログラム
- ATAMIせかいえ (優待価格にてご招待)

ATAMIせかいえ
エントランスATAMIせかいえ
ロビー

株式の状況

(2024年3月31日現在)

発行可能株式総数	30,000,000株	
発行済株式の総数	14,264,100株	
株主数	3,979名	
大株主		
株主名	持株数(株)	持株比率(%)
大前 研一	5,445,7005	38.75
日本カストディ銀行 (信託口)	54,600	3.94
日本マスタートラスト信託銀行 (信託口)	300,000	2.13
久保 博昭	238,300	1.69
酒井 拓	227,200	1.61
宮本 雅史	198,000	1.40
伊藤 泰史	194,100	1.38
F.W.HUIBREGTSEN	188,000	1.33
日森 潤	168,900	1.20
村井 純	166,000	1.18

会社概要

(2024年3月31日現在)

商号	株式会社Aoba-BBT (英語表記: Aoba-BBT, Inc.)
本店	東京都千代田区六番町1番7号
所在地	六番町オフィス (本社) 〒102-0085 東京都千代田区六番町1番7号 麹町オフィス 〒102-0084 東京都千代田区二番町3番地 TEL: 03-5860-5530 FAX: 03-3265-1381 URL: https://aoba-bbt.com/
設立	1998年4月
資本金	18億16百万円
上場証券	東京証券取引所スタンダード市場 (証券コード: 2464)
従業員数	連結: 702名 単体: 134名

IRサイト
紹介<https://www.bbt757.com/ir/>

Aoba-BBT IR

検索

人的資本政策

当社では、Lifetime Empowerment のビジョンを体現する人的資本政策に取り組んでいます。

【女性活躍推進】

(1)女性管理職比率 グループ全体 47.4%

	管理職数	うち女性	女性管理職比率
BBT単体	20	4	20.0%
国内グループ会社	24	13	54.2%
海外グループ会社	13	10	76.9%

(2)子育て支援 育児休業後の職場復帰: 100%
男性の育休取得者: 7名 (対象者8名中) ※連結

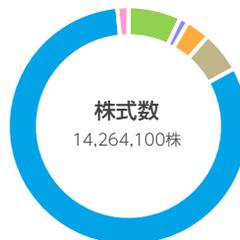
【従業員の育成 (Aoba-BBT単体)】

コース	受講者数	総研修時間	受講対象者	平均受講時間
語学研修	38	1,520h	正社員 134名	11.3h
Leadership・ 論理思考 他	24	2,097h	正社員 134名	15.6h
映像研修 (毎週配信)	181	21,488h	181名 (派遣等含)	118.7h

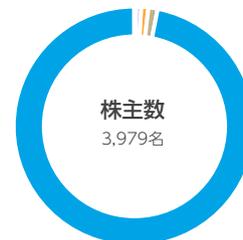
※社内コンテンツの受講を推奨し、1人当たり年間145.7時間の研修を実施。
また、社内制度を利用し、3名がMBAを取得【その他 (Aoba-BBT連結)】 国際バカロレア認定校やケンブリッジ
国際認定校は、認定維持の観点からも研修を定期的実施

所有者別分布状況

(2024年3月31日現在)

株式数
14,264,100株

金融機関	7.085 %
証券会社	1.149 %
その他の法人	3.219 %
外国法人等	5.548 %
個人・その他	81.504 %
自己株式	1.491 %

株主数
3,979名

金融機関	0.251 %
証券会社	0.653 %
その他の法人	0.955 %
外国法人等	1.231 %
個人・その他	96.883 %
自己株式	0.025 %

株主メモ

定時株主総会	毎年4月1日から翌年3月31日まで
配当基準日	毎年6月開催
株主名簿管理人	期末配当金 毎年3月31日 中間配当金 毎年9月30日 東京都千代田区丸の内一丁目4番1号
事務取扱場所	三井住友信託銀行株式会社 東京都千代田区丸の内一丁目4番1号
(郵便物送付先)	三井住友信託銀行株式会社 証券代行部 〒168-0063東京都杉並区和泉二丁目8番4号
(電話照会先)	三井住友信託銀行株式会社 証券代行部
(インターネット)	☎ 0120-782-031
ホームページURL	https://www.smtb.jp/personal/procedure/agency/
公告の方法	電子公告の方法により行います。ただし、やむを得ない事由により電子公告をすることができない場合は、日本経済新聞に掲載いたします。